

常新

故白井博之氏を悼みて

中野 甲 藏

私は白井博之氏の死を心くもする人ではなかつたから痛む一人です。先考選平翁より二代に渉り然も事を圖るに密、萬遺漏て宿縁淺からざる所の立場なきことを期した人で、其在りて其訓育も補導も私演説などに至つては東北に一向感謝する所の立場を稀れに見る所の發音と体作り得ず、今東都に落目とて天來の自然的の強味生活に在ることは先考たるを持つて居られた、白井氏、恩人たる白井氏に私昭和三年縣下の財界對して不甲斐なきことと御「パニック」に際し様々の訛をするしかありません。人が人後に落ちたが一番早私の立場だけでも好いなら、つた白井さん、一郎氏は周り得たことではありませんが、何と言ふても福島縣には先只二回程病床に訪ねて御話考選平翁以來二代に渉る所合したわけでした事は誠に偉大なる存在であつたこと遺憾の極みです。とは何人と雖も否定出来なまるもの事がない、私に見る白井氏は徹頭徹尾せん。理性の人でした。活達とは言ふ迄もなく先考選平翁は言ひ得ざるも體に剛毅の人、常磐炭田の開拓者、常磐線でした、資性質質で矢張り、農工銀行の創設に富み政治上の事にも財界農銀の頭取或は代議士とし委員警城銀行の創設者で博の事にも一定の見識を持つては批難することの出来な之氏は其大部分を承継主宰て居らる、所の人です、故い立派な人格でした、健康し二代共に代議士には三に此の點はよく御承知の答も無比で骨格も日本人とし回宛當選するなど榮譽の家です、子を見ること親に如さんが一郎氏の存在は白井程力強く頼もしく思われれた飛塚氏に稀れに見る高潔の難解の事件が起つても「ビツク」は三代目一郎氏を逆らうか、實に善い御子を持た

はリスク
堂生資
町濱小
番四四一話電

昭和七年六月十五日 一月六回 五月十日十五日廿五日廿五日
(第三種郵便物認可) 発行日

小名濱魚市場町營問題 完く解決

一般注視の的となつた小名濱魚市場町營問題は飛塚場長以下三名の調停宜しきを得て完全に圓滿なる解決を告げた。

決定案

- 一、代行期間八年六月(自昭和九年七月一日)至全十七年十二月卅一日)
- 二、歩合 五ヶ年間の歩合

種別	歩合	町會社	組合	宿獎勵金
船	三分	六厘	一分一厘	二厘
地	八分	一分二厘	一分五厘	二厘
船	六分	一分三厘	一分五厘	二厘
船	六分	一分三厘	一分五厘	二厘

魚市場問題 調停者慰安會

二月二十八日午後六時より新米に於て今回魚市場問題の調停者として盡力されし飛塚場長等四名を主客として町理事者町議漁業組合幹部水産工業の關係者が會合して調停者の勞をねぎらうた。

樋口 速氏 小名濱町収入役重任

去る二月二十七日小名濱町會にて収入役推薦の件を議上し、樋口速氏を第一候補として推薦し、速氏は第三期の収入役に就任した。

常磐春秋 三崎組 太田勝康氏

風形の點より見ても人格的のひらきか眼はすして相手を威服せしむるだけの品位を備へた人に土木建築請負業三崎組太田勝康氏がある。太田氏は決して雄辯家ではない、寧ろ寡言の人だ夫れ家諸氏の範とするに充分であらう。

新任水産試験場長 中山琢三氏

新任水産試験場長中山琢三氏は本縣飯坂出身にして、務主任として名聲高く飛塚場長より本縣小名濱試験場の榮轉にて年四十二才の場、昭和二年に來任三ヶ年渡瀾たる働盛り、一般より勤めた経歴あり技師として此手腕を期待されし居る來て

飛塚場長赴任

愛知縣水産課長に榮轉せし飛塚場長は三月二日午前九時泉驛發列車にて赴任の途についた。

江名町 平川醫院

江名町に隆々たる盛名を博しつゝある平川先生醫術の言の通り稀れに見る現代的存在である、先生に一度接せし人は先生の溢るゝ如き仁徳生命を托するに熱と親切は言ふ迄もないが、然も言はずあの多忙なる寸暇なき繁昌に實際的收入は僅少と聞くが夫れで先生は何時モニコ／＼顔で不氣味の顔を人に見せた事がない、平川先生に於てこそ現代醫家諸氏の範とするに充分であらう。

國民よ戒心せよ

危険線は内部にあり

晴天の霹靂國民は滿洲事は國民總動員の努力により件後漸く眞個日本の立場に今や所謂三十五年の危険...

銘清世界 酒福鶴 各種味噌醬油 三河屋商店

衛生第一主義 KOGE TSU DO 和洋御菓子 調進大勉強

銘酒 銘清世界 清水屋本店

馬目ククシー 裁縫用品 縫製用品

新松屋菓子店 風味の櫻もち

子供は國の寶 安産湯 松崎勳

石版専門 嶺新ナル圖案 美術印刷

磐城水産工業株式會社 營業(冷凍部、鹽油部)

白石藥舖 親切・勉強・正確・安心の藥舖

生徒募集 水野技藝女學校

品質本位 三ツ馬印特製 タヌキ印特製

久保田醫院 內科小兒科 產婦人科

中村醫院 內科小兒科 外科花柳病科

平川醫院 內科小兒科 花柳病科

宮津醫院 內科外科 耳鼻咽喉科

佐瀨醫院 內科小兒科 花柳病科